

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公表番号】特表 2006-502883 (P2006-502883A)

【公表日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2006-004

【出願番号】特願 2004-544230 (P2004-544230)

【国際特許分類】

B 2 9 C 44/00 (2006.01)

B 0 1 D 39/00 (2006.01)

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

G 0 1 T 7/02 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 67/22

B 0 1 D 39/00 B

B 0 1 D 39/16 H

G 0 1 T 7/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 11 日 (2006.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

密度 $0.6 \sim 1.2 \text{ g / cm}^3$ を有する不規則に焼結されたプラスチック顆粒状粒子を含み、且つ、D I N - I S O 60 に準じた嵩密度 $150 \sim 250 \text{ g / l}$ を有するプラスチック成形体であって、前記顆粒状粒子は $2 \sim 10 \text{ mm}$ の範囲のサイズを有するものである、プラスチック成形体。

【請求項 2】

前記嵩密度が $150 \sim 200 \text{ g / l}$ の範囲内にある、請求項 1 に記載のプラスチック成形体。

【請求項 3】

前記プラスチック顆粒状粒子がポリエチレン又はポリプロピレンからなる、請求項 1 又は 2 に記載のプラスチック成形体。

【請求項 4】

前記プラスチック顆粒状粒子がレンズ形である、請求項 1 ～ 3 の一項以上に記載のプラスチック成形体。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 の何れか一項に定義したプラスチック成形体の製造方法であって、下記の段階、すなわち、

(a) 少なくとも 2 層の、 $2 \sim 10 \text{ mm}$ の範囲のサイズを有するプラスチック顆粒状粒子を型中に充填し、

(b) 前記プラスチック顆粒状粒子が表面だけで溶融し始めるが、全体にわたり完全には溶融しない温度まで、前記プラスチック顆粒状粒子を加熱し、

(c) 室温まで冷却し、そして

(d) 焼結したプラスチック成形体を型から取り出す

段階を含む、前記方法。

【請求項 6】

前記段階（c）の冷却が急冷である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 4 の 何れか一項に定義したプラスチック成形体の、床の形態でのプレフィルタ材料としての使用。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 4 の 何れか一項に定義したプラスチック成形体の床。